

明るい漁村

第160号

- 発行日
平成18年4月5日
- 編集兼発行人
漁業協同組合JFしまね
- 印刷所
松村印刷株式会社
- 題字
澄田島根県知事

漁業協同組合 JFしまね

— 包括承継式特別号 —

漁業協同組合 JFしまね 連合会包括承継式



も

<

し

- JFしまね包括承継式概要 2
- JFしまね会長挨拶 3
- 来賓祝辞 4
- JFしまね新組合組織図 7
- JFしまね職員配置表 8

漁業協同組合JFしまね包括承継式概要



挨拶をする岸JFしまね会長



祝辞を述べられる青木参議院自由民主党議員会長



行動指針を披露する西郷支所 藤岡



来賓



乾杯

一月一日に誕生した「漁業協同組合JFしまね」と、島根県漁連、島根県信漁連、邇安漁連との包括承継式が四月一日(土)、松江市朝日町の「松江東急イン」で執り行われた。

式典には、本県選出の国会議員、県、市町村、系統関係者約百人が出席。団野JFしまね副会長の開式の辞の後、岸宏JFしまね会長が「名実ともに全国最大規模の漁協になるように組織に魂を入れ、中身のある組織にしたい」また「信頼と挑戦を基本理念に積極的に各種事業を進め、経営基盤を強化し、二十一世紀に向け、一丸となって進んで行く」と挨拶をした。

続いて永田JFしまね専務より

JFしまね誕生並びに包括承継までの経過報告の説明後、本組合の顧問でもある青木参議院自由民主党議員会長より、また島根県知事、島根県議会水産振興議員連盟を代表して岡本副会長より祝辞を頂き、来賓紹介、JFしまね築谷常務からの祝電披露と続き、西郷支所職員・藤岡より『JFしまね行動指針』の披露がなされ、島根県議会水産振興議員連盟細田顧問の乾杯の後、金坂JFしまね副会長の閉式の辞で式典を終了した。

包括承継後のJFしまね組合員数は一万三千二百八十二人(正組合員数四千六百六十人・准組合員数八千六百二十二)となり全国最大規模の漁協となった。

「漁業協同組合JFしまね行動指針」

- 一、JFしまねは、組合員の所得向上に努めます。
- 一、JFしまねは、資源豊かな島根の海を創ります。
- 一、JFしまねは、安全・安心・新鮮な島根の魚を届けます。
- 一、JFしまねは、地域社会の発展に貢献します。
- 一、JFしまねは、明日を担う人を育成します。

ごあいさし



代表理事会長

岸

宏

段階においては漁業協同組合を統括する民主的な組織として島根県漁連及び島根県信用漁連が創立されて以来、実に五十有余年が経過いたしました。

顧みますと、当時の我国は戦後の混乱期を経てようやく復興の緒についた時であり食料難に加え漁業界も漁場の荒廃や生産資材の不足など混乱のさなかにあつて、漁業者が系統組織に寄せる期待は誠に大きなものがありました。

その後高度経済成長の時流と共に、系統事業も各般に亘り順調に進展し、組合員の負託と地域の要請に答え得る、名実共に社会の中核組織として、逐年その体制が整って参りました。

このような激動の半世紀の中で、たび重なる難局を、「一人は万民のために万人は一人のために」の協同組合精神と血のじむような努力によって、これを乗り越え、今日の漁協系統組織の礎を築きあげ

しまね」が構築できました事は感激の極みであります。関係漁協の役員・組合員各位のご理解と国・県・市町村当局並びに議会のご支援に改めて深く感謝申し上げます。

新組合は、組合員数約一万二千人・販売取扱高約二五〇億円の全国最大規模の漁協であります。その運営に当たりましては、先ず組織に魂を入れるべく「信頼と挑戦」を基本理念に積極的に各種事業を推進し、経営基盤を強化して参ります。

協同組合運動は人のつながりであり、第一は、組合員皆様の信頼を得る事を最優先に取り組む。第二には、社会的信頼を得る努力を致します。第三には、海を信頼し無限の可能性を信じ資源保護を図り乍ら効率的漁業を構築し持続的生産体制を確立致します。

この「組合員からの信頼」「社会からの信頼」「海への信頼」を基本に、今般「漁業協同組合JFしまね行動指針」を決定したところであり、組織一丸となってその実現に向けて邁進する所存であります。これまでの関係各機関から賜りましたご支援に改めて感謝申し上げますと共に今後一層のご指導お力添えをお願いし挨拶と致します。

本日ここに「漁業協同組合JFしまね」連合会包括承継式を挙行しましたところ公務ご多繁の央、本組合顧問であります青木自由民主党参議院議員会長・松尾島根県副知事をはじめ多数のご来賓のご臨席を賜ると共に、本組合役職員各位の出席のもと盛大に開式できますことは主催者と致しまして衷心より厚くお礼を申し上げます。

さて、戦後の混乱した社会情勢の中、漁業制度改革と相俟つて、昭和二十四年二月に水産業協同組合法が施行され、漁業協同組合が県下津々浦々に設立される一方県

祝 辞



参議院自由民主党
議員 会長

青木 幹雄

どうか新しく岸会長のもとで、みんながそのような問題に乗越えて、出来るだけ早い機会に気持ちの上でも、組織の上でも一本化されることを願っている次第でございます。

皆さん今日は本当におめでとうございます。只今、経過報告がございましたように、合併は一つの大きな時代の流れであるうと思えます。皆さんの、努力のおかげで今日こうして県下が一本になった新しい組織が誕生したことを心からお慶びを申し上げますと共に、今日までの皆さんのご努力に対し、心から敬意を表するものでございます。しかしながら、それぞれ今までの漁協は長い伝統と、いろいろな地域性を持っておりま

今、岸会長からお話がありましたように組合員数日本一、そして預金高、出資金、さらに水揚も全国有数という、非常に数字の上では現在恵まれた環境の中でスタートされるわけでございますので、これをしっかりと育て上げて、日本一の漁協、みんなの団体が出来るために、私も全力をあげて支援をするつもりでございますので、ひとつ皆でがんばりましょう。こうして皆さんを見ていきますと非常に懐かしい顔ぶれの方々がたくさんおられます。しかしながら、私が一番古くなったなあという感じがしております。と言いま

すのは、ちょうど私が大社漁協の組合長に就任したのが昭和四十一年でありまして、漁連の理事に出た当時の会長が室崎勝造さんでした。専務は岸啓之助さんが務めとられました、益田の組合長は中島さんだったし、大田は元市長の林さん、隠岐は当時県議の中川さんと、そういう時代がありました。皆それから何十年おいて、「ああ今日を迎えたな」という、そのような感じが致しております。

また、私も国会議員も皆さんのおかげで国会へ出して頂いたときに、水産部会というのがありまして、そこでいろんな水産政策をやったり、水産業の支援をしているわけですが、どの会に出てもいつも百人を超すような非常に盛会でした。しかし、現在はほとんど二、三十人、しかしこれは数が減ったからどう

ということではなくて、非常に若手の、非常に熱心な皆さんがしっかりと日本の漁業を支えております。といえますのは、皆さんご承知のように、海のない県も全国にたくさんございます。それから、衆議院の選挙制度が変わったために、以前は全県一区でしたから、みんな海のある県は、そこに所属しとったわけですが、いわゆる自分の選挙区で海がない人が非常に増えたために現在ではそういう状態でございますので残ったみんなので、しっかりと漁業を支えていこうと思っております。

また、近年油が上がる、クラゲという想像しない、いわゆる私は災害だと思っておりますが、そういう問題も生じてくる、韓国との複雑な漁業問題もまだ残されたままでございます。そういう中での新しい出発でございますので、わたくし共も全力をあげて皆さんのバックアップをします。皆さんも力を合わせて岸会長を中心に立派な組合に育ちますように心からお願いを申し上げます。今日は本当におめでとうございました。

祝 辞



代読される松尾秀孝島根県副知事

島根県知事 澄田信義

て島根の水産振興を推進して参りたいと考えておりますので、御協力をお願い申し上げます。
終わりに漁業協同組合JFしまねの御発展と御出席の皆様方の御健勝を祈念しまして、祝辞といたします。

会の開催、合併契約など様々な取り組みのなかで幾多の困難を乗り越えられ、四年の歳月を経て、全国最大規模の漁協が誕生したことは、本県の水産業の歴史に新たな一ページを記す画期的な出来事であります。

本日ここに、「漁業協同組合JFしまね」連合会包括承継式が、盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

また、包括承継に向けて御尽力されました島根県漁協合併推進協議会並びに水産関係団体の皆様に対しまして、深く敬意を表する次第であります。

平成十四年に一県一漁協の構築に向けた決議をされて以来、事業経営計画の策定、地区座談

組合員の付託に応えるべく「光り輝く漁村の未来」づくりに向けて大きな一歩を踏み出された新漁協におかれましては、真に自立した漁協の実現に向けて、スケールメリットを生かした積極的な販売戦略のもと、新たな市場開拓やブランド化など事業経営計画に基づく健全で効率的な経営体を目指して、事業を展

開されますよう大いに期待しています。

現在、県では、目指すべき将来像を「自立的に発展できる快適で活力のある島根」として掲げ、豊かな地域資源とこれまでに整備した各種基盤や諸施策の成果を最大限生かすよう全力を挙げ取り組んでいます。

水産業の振興に向けては、漁業経営緊急支援資金貸付金の創設などによる基幹漁業の経営安定対策や、新たな担い手の育成、高付加価値化への支援などの取り組みを進めてまいります。

今後とも、働く人々の声をお聞きしながら、皆様と力を合わせ



祝



島根県議会水産振興議員連盟を代表しまして、一言お祝いを申し上げます。

「漁業協同組合JFしまね連合会包括承継式」が盛大に開催されますこと、心からお祝いを申し上げます。

本日は、県下の沿海二十漁協が合併して設立されたJFしまねと県漁連・信漁連の統合という、本県水産業史に残る大事業である漁協合併が完成した、誠に意義深い日となりました。

漁業協同組合は、江戸時代以前の漁協集落に始まり、本県では

辞

水産振興議員連盟代表
岡本昭二
副会長

戦後にはその数が百を超えた時代もあつた歴史の中で、漁村の中核組織として、漁業者はもとより県民に対する水産物の安定供給など、その役割を果たしてこられました。

現在の水産業を取り巻く厳しい環境の中で、今後も漁協としての役割を担っていくため、全国で漁協合併の取り組みが進められておりますが、大変苦労されていると聞いております。

本県でも、平成十四年から、今回の合併についての協議が始まりましたが、本日までの間、様々な困難があつたものと推察いたします。

これら乗り越え、本日の良き日を迎えられたわけでありますが、この間の関係する皆様の

岡本昭二

取り組み、御努力に対しまして、心から敬意を表する次第であります。

さて、全国的には、数々の経済指標が改善するなど、景気回復が鮮明になってきておりますが、残念ながら、本県においてはそうした状況が実感するまでに至っておりません。

本県は一千キロを超える海岸線を有し、目の前に広がる豊かな日本海を漁場に、古くから盛んに水産業が営まれていきましたが、本県経済が明るさを取り戻し、地域が活性化するためには、こうした地域に根ざした水産業の振興が不可欠であります。

また、本年二月二十二日には初めての「竹島の日」を迎えましたが、韓国との漁業を巡る問

題は本県水産業にとって大きな問題であります。

水産振興議員連盟としましても、皆様方と一体となって本県水産業の抱える様々な問題の解決に取り組み、水産業の振興を推し進めてまいりたいと考えております。

今回の合併により、組織の効率化や販売力の強化を図り、組合員の所得向上と漁協の経営基盤強化を進めると聞いております。また、最近では、漁業と漁村の持つ環境保全機能に対しても注目され、漁協にはこうした機能を維持する役割も期待されております。

JFしまねが、組合員の皆様はもとより、地域や社会の要請に応え、今後も漁業地域の中核組織として、また、本県水産業を牽引する組織として、力強く発展されることを心から願っております。

終わりに、本日御出席の皆様への御健勝と御活躍を祈念しまして、祝辞といたします。

本日は、本当におめでとうございました。

漁業協同組合JFしまね組織図

組合員資格審査委員会

支所運営委員会

4月1日就任



永田専務



築谷常務

総 会

総 代 会

理 事 会

監 事 会

常 勤 監 事

代表理事会長

(岸 宏)

副会長理事

(団野 清・金坂 敬・池田隆二)

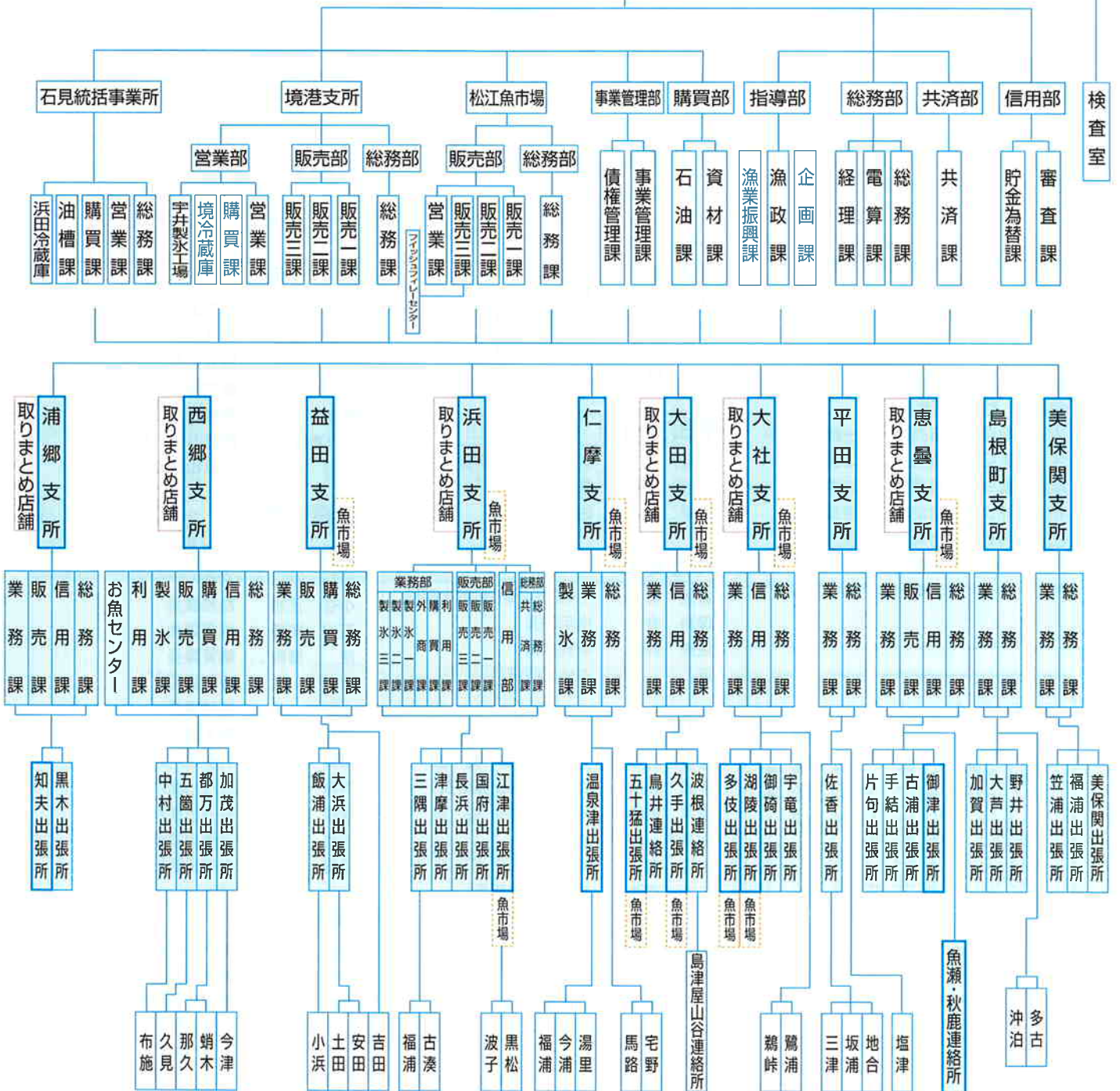
専務理事

(永田正二)

常務理事

(築谷允行)

参 事



漁業協同組合JFしまね 職員配置表

(H18.4.1付)

本所

原 司	参事兼総務部長
郷原 育郎	総務部次長(経理担当)
安木 英二	総務部総務課長兼電算課長
山本 常男	総務部経理課長
小谷 考二	指導部長兼企画課長、漁政課長
青山 利泰	指導部漁業振興課長
野坂 美伸	検査室長
岸本 良男	事業管理部長兼事業管理課長
縄 祐司	事業管理部債権管理課長
青木 章	信用部長
鍛冶 和伸	信用部次長兼貯金を替課長
福田 雅志	信用部審査課長
山本 平二	共済部長兼共済課長
草本 正	購買部長兼石油課長
金森 浩二	購買部資材課長

松江魚市場

木村 勝彦	場長
砂原 繁義	総務部長兼総務課長
金村 慶一	販売部長兼販売一課長
青山 建夫	販売部販売二課長
福本 匡弥	販売部販売三課長兼 フィッシュワイヤーセンター長
松本 聡	販売部営業課長

境港支所

中尾由岐夫	支所長兼総務部長、営業部長
中村 光夫	総務部総務課長
船越 勲	販売部長
青山 重明	販売部販売一課長
木下 秀昭	販売部販売二課長
渡部 賢一	販売部販売三課長
松崎 祐次	営業部購買課長
石川 博雄	営業部営業課長
小田原昭比古	営業部境港冷蔵庫工場長
福田 典夫	営業部宇井製氷工場長

石見統括事業所

浜田 勝文	石見統括事業所長
大平 広幸	石見統括事業所次長
中町 豊	総務課長兼購買課長、油槽所長
坪倉 慶	浜田冷蔵庫工場長
中島 健次	営業課長

美保関支所

林 保博	支所長兼総務課長
松本 美夫	次長兼業務課長、福浦出張所長
鹿谷 勉	美保関出張所長
周藤 広和	笠浦出張所長

島根町支所

小灘 初務	支所長兼総務課長
梶野 勉	業務課長
矢田 幸弘	野井出張所長
小池 幸久	加賀出張所長
奥村 一郎	大芦出張所長

恵曇支所

川上 省自	支所長
川谷 尚	総務課長
小松 茂	信用課長
青山 博之	販売課長
青山裕太郎	業務課長
小笹 林一	御津出張所長
金坂啓二郎	手結出張所長
青山 伸一	片匂出張所長

平田支所

落合 孝悦	支所長兼総務課長
渡部 浩吉	業務課長
金築 恭治	佐香出張所長

大社支所

飯島 真人	支所長兼総務課長兼湖陵出張所長
保科 育夫	信用課長
佐野 幹雄	業務課長
浜 豊	多伎出張所長

大田支所

金築 博幸	支所長
浜崎 和信	次長兼久手出張所長
藤井 英博	総務課長
中島 一康	信用課長
土江 吉一	業務課長
三井 克浩	五十猛出張所長

仁摩支所

山根 裕二	支所長
谷本 幸雄	総務課長
縄 彰一	業務課長
飯塚 重晴	製氷課長
田儀 好孝	温泉津出張所長

浜田支所

吉本 礼二	支所長
竹原 久人	総務部長
高木 繁延	総務部総務課長
亀地 俊則	総務部次長兼共済課長
江木 修一	販売部長
江坂 寿満	販売部次長(経理)
門本 政文	販売部販売一課長
井田 寛	販売部販売二課長
下中 修司	販売部販売三課長
村上 博行	業務部長
平野 清昭	業務部外商課長
邊 正直	業務部利用課長
久保 久雄	業務部製氷一課長
表田 力	業務部製氷二課長
中田千重郎	業務部製氷三課長
折居 英俊	業務部購買課長
仲浜 弘二	信用部長
長廻 登	信用部(部長役)
田中 健司	三隅出張所長
伊瀬 一夫	国府出張所長(業務全般)
八谷 秀雄	長浜出張所長(業務全般)
久保 隆	津摩出張所長(業務全般)
岩根 重美	江津出張所長

益田支所

大達 光徳	支所長
大畑 正信	総務課長
俵 光弘	購買課長
橋村 祐次	販売課長
橋本 修二	業務課長
佐々木隆志	飯浦出張所長
野村 孝昭	大浜出張所長

西郷支所

長沢 安信	支所長
高梨 耕二	次長
小谷 正也	総務課長
石川 美德	信用課長
原 義則	購買課長
斎藤 敬	販売課長
上野 昭	養殖課長
沙魚川郁郎	製氷課長
松葉 克巳	お魚センター所長
野津 竹浩	加茂出張所長
奥森 勝	都万出張所長(那久)
吉原 和男	五箇出張所長
星野 亮	中村出張所長

浦郷支所

徳若 博	支所長兼知夫出張所長
古木 均	総務課長
柳谷 孝男	信用課長(共済)
玉川 盛	販売課長
広中 哲郎	業務課長
山根 清澄	黒木出張所長

編集後記

三月三十日、島根県漁連の長い歴史が終わりました。そして新たなスタートとなる三十一日午前零時一分、職員一同が神棚に手を合わせ新年度を迎えました。思いと願いを込めた「JFしまね行動指針」を常に抱き、日本一の漁協・明るい漁村を目指します。

(N)